

〔遺伝資源の収集・評価・保存〕

のらぼう菜における主茎摘心が収量・品質に及ぼす影響

澁澤英城・沼尻勝人・田邊範子・井川 茂^{*a}・秋間荘一^{*2}(園芸部・*西多摩農業改良普及センター・*2 J Aあきがわ) ^a現中央普及センター八丈

【要 約】のらぼう菜の早生系統では低葉位の主茎摘心を行うことで、側花茎の発育を促進し、早期に外観的品質の高い花茎を得られる。摘心葉位は10葉で最も効果がある。しかし、晩生系統では摘心によって品質は低下し、収量も減少するため、早期の摘心は避ける。

【目 的】

のらぼう菜は、3月中旬以降に伸長してくる花蕾茎を食用とする。主花茎の摘みとり後、太くて外観上品質の高い側花茎が低位の節から数本伸びてくるが、その後高位の節から伸びてくる花茎は次第に細くなり品質は低下していく。そこで、高品質多収生産（太い花茎を多収穫）をめざして、早期の主茎摘心が収量・品質に及ぼす影響を検討する。

【方 法】

生産者選抜の早生系統‘IS’、共販用の晩生系統‘TN’を2003年8月25日、128穴セルトレイに播種、9月18日に条間70cm、株間30cmで定植した。主茎の摘心は7葉、10葉、13葉、16葉および19葉の上で行い、各葉位とも各葉が完全展開した時点で主茎の頂芽を手で摘みとり摘心した。施肥は元肥を10a当たり成分量でN:14kg、P₂O₅:14kg、K₂O:14kg、追肥を10月10日にN:4kg、K₂O:4kg、2月16日にN:4kg、K₂O:4kg施用した。区制は1区18株とし、収量は各区10株について花蕾がみえた花茎を順次摘み取り調査した。

【成果の概要】

- 1) ‘IS’は‘TN’と比べて生育が早かったため摘心日も早くなった。摘心時の草丈は摘心葉位が高いほど高く、7葉で最も低い17cm、19葉で最も高い65cmであった(表1)。
- 2) ‘IS’における側花茎の収穫開始日は摘心によって早まり、10葉摘心では無摘心区より約50日早い1月9日から、13葉摘心では約30日早い1月26日から収穫が始まった。‘TN’では側花茎の収穫開始日に処理間で差がみられなかった(表2)。
- 3) 上物収量および上物率は‘IS’では摘心しても僅かな低下にとどまったが、‘TN’では著しく低下した。側花茎1本重は‘IS’では処理間に差がみられなかったが、‘TN’では摘心によって約半分の重さになった(表2)。
- 4) ‘IS’は通常、無摘心区が示したように3月以降に収穫盛期となるが、摘心を行った場合、全収量の50%程度を2月下旬までに得られた。10~16葉摘心区では2月上旬までの収量が高く、特に10葉摘心区は他の区より1月の収量が高かった。‘TN’では摘心によって初期収量は高くならなかった(図1)。
- 5) ‘IS’における摘心区の側花茎重は、無摘心区で収穫が始まる前の1月~2月中旬において50g以上あり、花茎は太く外観的品質の高いものであった(図2)。1月収穫では茹でた際の食味・食感は、甘みが強く、やわらかかったが、やや筋があった。
- 6) 以上の結果から、のらぼう菜早生系統において低葉位の主茎摘心は側花茎の発育を促進し、早期に外観的品質の高い花茎を得られ、10葉での摘心が最もその効果が高い。しかし、晩生系統では摘心によって品質は低下し、収量も減少するため、早期の摘心は避けるべきである。

表1 のらぼう菜の摘心日および摘心時の草丈

系統名	摘心葉位	摘心日	摘心時の草丈 (cm)	系統名	摘心葉位	摘心日	摘心時の草丈 (cm)
IS	7葉	10月1日	16.9 ± 1.3	TN	7葉	10月1日	18.8 ± 1.9
	10葉	10月7日	27.2 ± 1.6		10葉	10月17日	39.6 ± 1.6
	13葉	10月17日	46.3 ± 2.7		13葉	10月23日	47.2 ± 0.8
	16葉	10月23日	54.6 ± 2.5		16葉	10月31日	55.1 ± 3.1
	19葉	11月5日	64.5 ± 1.5		19葉	11月7日	58.0 ± 3.5

注) 2003年8月25日播種, 9月18日定植. 摘心は各葉位の葉身が完全展開した時期に実施.

表2 のらぼう菜における摘心が収穫開始日および収量に及ぼす影響

系統名	摘心葉位	収穫開始日		上物収量		下物収量		側茎 1本重 (g)	上物率 (%)
		主茎 (月/日)	側茎 (月/日)	茎数 (千本/10a)	重量 (t/10a)	茎数 (千本/10a)	重量 (t/10a)		
IS	7葉	-	2/20	172	2.3	23	0.2	14	93
	10葉	-	1/9	175	2.9	110	0.4	16	88
	13葉	-	1/26	146	2.6	100	0.4	18	86
	16葉	-	2/10	174	2.8	77	0.4	16	89
	19葉	-	2/13	145	2.3	58	0.3	16	89
	無摘心	2/20	2/27	193	3.4	24	0.1	16	97
TN	7葉	-	3/11	116	0.9	90	0.6	8	60
	10葉	-	3/11	139	1.3	108	0.6	9	69
	13葉	-	3/16	120	0.8	120	0.9	7	48
	16葉	-	3/16	126	1.0	90	0.5	8	65
	19葉	-	3/16	127	0.8	87	0.7	7	56
	無摘心	3/4	3/16	141	2.3	62	0.4	14	84

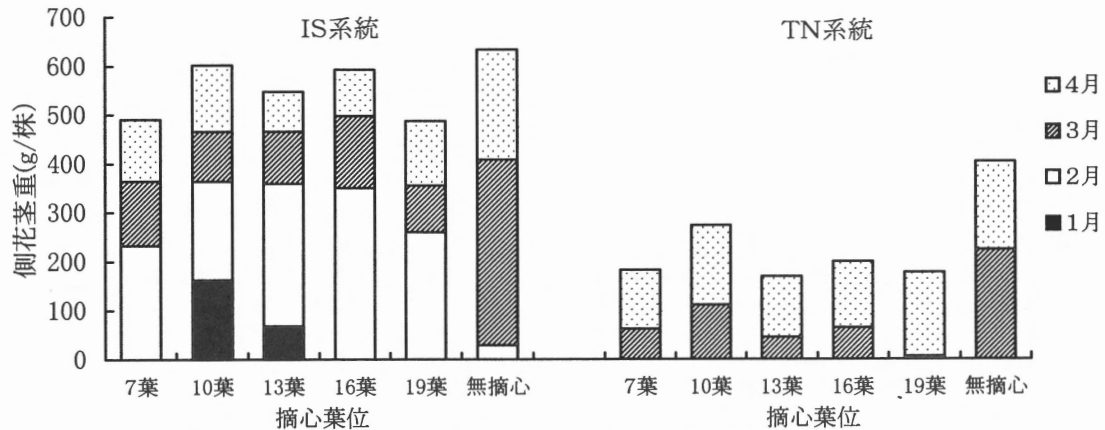


図1 のらぼう菜における摘心が月別収量に及ぼす影響

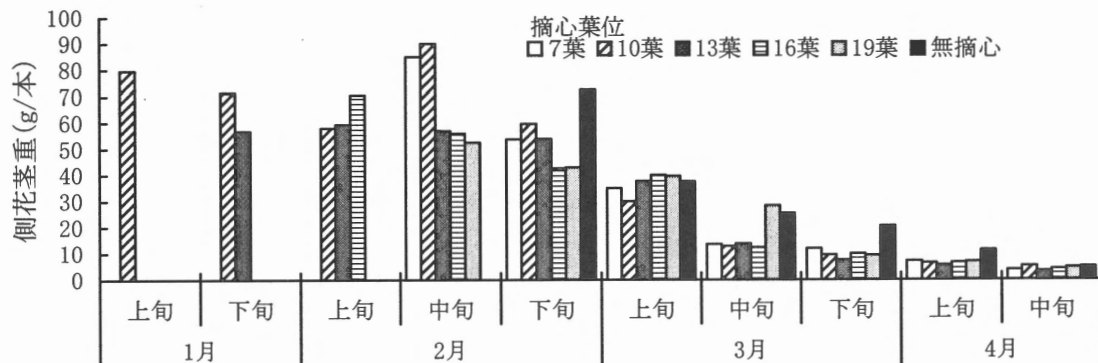


図2 のらぼう菜における摘心が側花茎の大きさに及ぼす影響